

日時 平成27年10月13日
午後7時～9時
場所 いきいき元気館



- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
- 5 地区の事業概要
- 6 質疑応答
- 7 地方創生について
- 8 意見交換会
- 9 閉会あいさつ

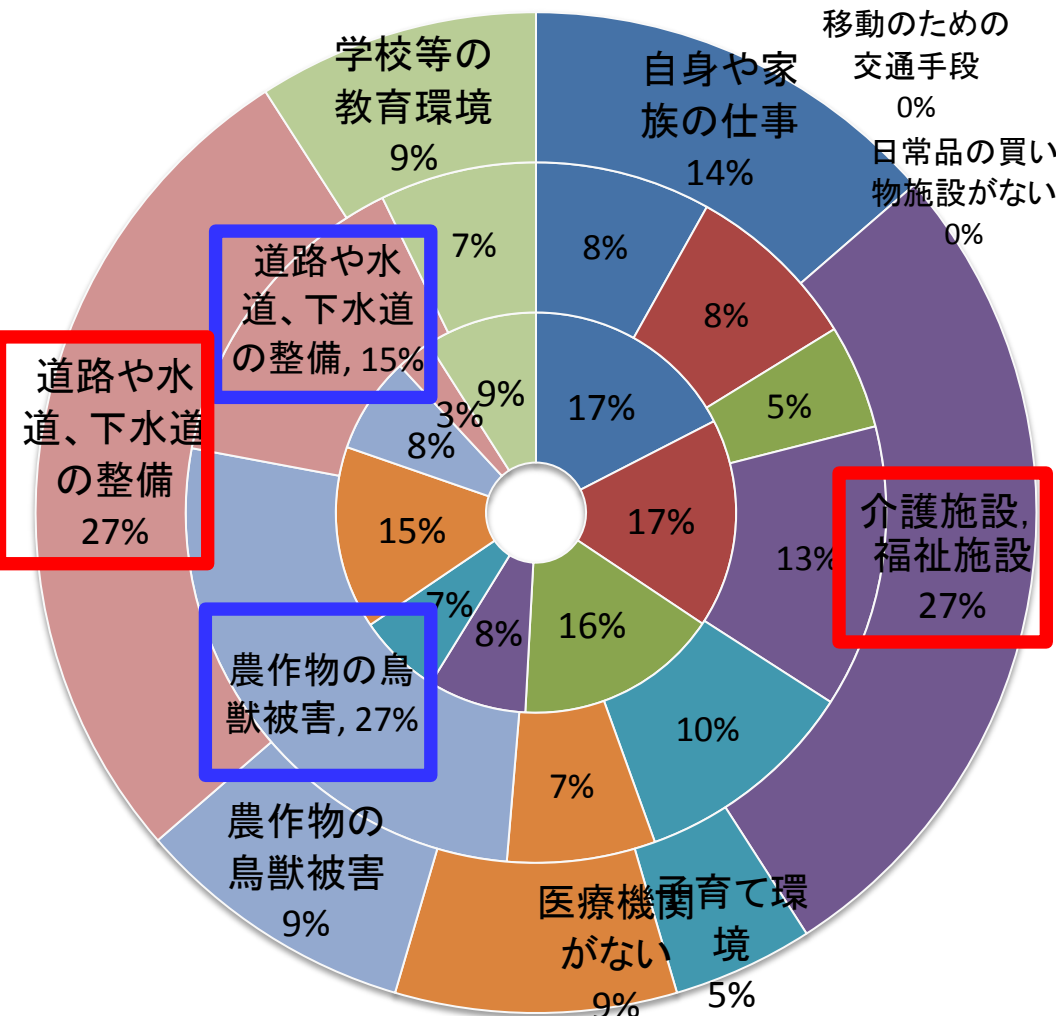
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川 祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室
地方創生政策監	宮本 祐輔	地方創生総合戦略策定や氷見市人口ビジョンに関すること
防災・危機管理監	濱井 博文	地域防災室 自然災害や原子力災害対応に関すること
まちづくり推進部長	荒井 市郎	都市計画・まちのグランドデザイン課 商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 海浜植物園・花みどり推進室 魚々座・漁業文化推進室
総務部長	桶元 勝範	総務課 財務課 税務課
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
教育次長	草山 利彦	教育総務課 学校教育課 教育総合センター 図書館 博物館
環境・交通防犯課長	明圓 俊彰	環境美化・保全等に関すること
地域担当職員	藤澤 一興	(所属) 財務課
地域担当職員	足立 章夫	(所属) 上下水道課
地域担当職員	岩根 伊都子	(所属) 税務課

昨年のふれあいトーク報告

困り事

日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、困ったことはありませんか？



外円:東地区
中円:氷見市全体
内円:全国農漁村調査結果

関心事

ふれあいトークではどの項目に関心をお持ちですか？

旧庁舎の跡地利用について

旧庁舎解体後の跡地利用の迅速な決定について

- ・旧庁舎解体後の跡地利用
- ・北の橋改修工事
- ・空き家対策
- ・地域住民交流の場

若者の娯楽施設、子育て支援対策→スポーツ会場の不足

北の橋改修工事について

今後の氷見市の観光について

行政と地域住民が一对となる連帯感が必要。福祉関係

中野サンプラザについての話や人材集めること、地域住民交流の場

対応済

1301-ガラス被害対策
1304-魅力づくりと人口対策（継続）
1306-防災無線が聞こえない（継続）
1307-旧若葉保育園の使い方
1309-美しい湾氷見の風景
1310-朝日山公園の桜が老木（継続）
1311-氷見市の観光戦略
25/1024-商店街の活性化とまちづくり（継続）
25/1027-空き家対策（継続）

27年度内

1303-地域住民交流の場
1308-地方創生の交付金

可能

28年度以降

1305-旧庁舎の跡地利用
1312-バレエができる施設
25/1025-市施設の整備利活用計画

国・県等市以外の事業

1302-北の橋改修工事

未定

参考意見

●カラスの生息調査

旧市役所を中心に四方700m範囲

H26.8/12 15:30 33羽 19:00 1,350羽

H27.8/23 15:30 7羽 19:00 916羽

●路面清掃(H27年度)

1回目 7/31、2回目 9/30、3回目 10/9

●ゴミ箱

黄色いネット、折りたたみ式を試供
⇒効果的であった折りたたみ式を

30枚提供

●高圧洗浄機

5台 10月9日納入

●忌避音実証実験

10/19(月),20(火)

●協議体制

地区、北陸電力、市等の関係機関で
現状の報告と今後の取り組みを協議

【平成27年度】

清掃作業状況(業者委託)



北の橋の 架け替えと 今後の取組み



「北の橋」

北の橋は上庄川下流部に位置し、古くは江戸時代から、交通の要衝として人々の生活を支え続けてきました。明治32年には橋周辺において氷見地方の主要な「魚市場」ができ、荷揚げを行う漁師の姿や行き交う人々で賑わう漁村の風景があったと言われています。その後市場は移転され、さらには北の橋下流には比美乃江大橋ができ、周辺は様変わりしたものの、橋の車両交通量は24時間あたり約2,600台(平成22年道路交通センサス)であり、依然として多くの人々にとっての「架け橋」となっています。

橋の架け替え工事が始まります

現在の北の橋は昭和13年に架け替えられ、昭和45年には拡幅工事を行っていますが、経年による老朽化や耐震性の問題により、富山県が新たに架け替え工事を行います。平成28年9月より順次撤去作業を行い、約2年半の工事期間を経て新しい橋が完成する予定です。

工事の施行を控え、今後の北の橋のあり方について議論がされ始め、去る7月22日に「北の橋整備促進協議会」が設立されました。本号では当協議会の設立主旨や活動についてご紹介いたします。

上流側からみた北の橋。橋越しには唐島や比美乃江大橋が望める



下流側からみた北の橋。背後には川沿いの家屋が連なる

北の橋にまつわる 「勉強会」を実施しました【5/9(土)、5/28(木)】

北の橋の現状を把握し、今後の議論の参考とするべく、周辺関係者と市職員らによる勉強会を実施しました。第1回目は氷見駅周辺整備やひみ獅子舞ミュージアムの設計者である栗生明氏をお招きして景観ステーションとしての考え方や意見交換を行いました。第2回目では現地見学を交え、前回の勉強会の際に話題となった、「**交差点の視認性**」や、「**周囲の構造物(シンボル)**」、「**橋を中心とした眺望景観**」等を再確認しました。2回の勉強会を通して、北の橋が使いやすく、親しまれる橋を目指すには今後どのような考え方が必要か、また今後どのような体制のもとで取り組んでいくかの議論が行われました。



第1回勉強会 意見交換を行う関係者



第2回勉強会 現地見学の様子

北の橋整備促進協議会の設立【7/22(水)】

これまで周辺関係者による勉強会や現地見学によって議論を重ねてきましたが、**早期の整備を目指すには北の橋にかかる要望を一本化する必要がある**ことから、周辺自治会や市内関係機関も交えた組織「北の橋整備促進協議会」が設立されました。当会の設立趣旨には、「**周辺住民の生活環境への影響に配慮することはもとより、長い歴史のある本橋が周辺景観を十分考慮した外観・デザインをとなるよう検討すること**」と設けられ、参加者からは「北の橋を観光、まちづくりに活かすことができれば」といった声があがりました。総会では協議会の活動に関する事業計画が承認されたほか、富山県知事政策局の松島参事によるミニ講演「富山県内の歴史・文化を活かしたまちづくり」を行い、橋梁整備に対する理解を深めました。



協議会会長の仕切義宣氏



富山県知事政策局 松島参事による講演

射水市・高岡市への先進地視察【8/19(水)】

景観と歴史を活かしたまちなみづくりの参考として、会員ら19名が射水市の「内川周辺」、高岡市の「山町筋、金屋町」を視察しました。内川周辺では約2.5kmの流域内に大小様々な橋梁15橋が整備されており、川沿いの周辺整備が進んでいる地域として知られています。また「山町筋、金屋町」では歴史的建築物を活かした町並みづくりで多くの観光客を呼び込んでいます。両地区を視察し、参加者からは「意図をもって統一された町並みの力を感じた」「北の橋の整備については、橋のストーリー性を大切にするべき」など、視察地と北の橋周辺を比較して、多くの「気づき」を得ることができました。



デザイン検討部会の開催【9/1(火)】

北の橋のデザイン案の策定を受諾した栗生総合計画事務所から、橋梁整備の事例(欄干や舗装、防護柵、休憩スペース等の整備事例)の紹介や、その後ワークショップ「橋の整備について、大切にしたいこと」を行い、部会員がそれぞれの考えをまとめました。主な意見としては「旧漁港時代やその他の歴史について、末代の子供達に伝えることができれば良い」といった歴史を重視した意見や、「明かりがまちとまちの間に途切れないように橋をライトアップし、まちをつなげる」などの景観を重視した意見、その他にも「屋根のある休憩スポットを作り、岸辺に降りられる船着き場の様なものがあれば」「安全が第一。交通に支障が出ないようにすること」といった意見がありました。栗生総合計画事務所はこれらの意見を集約し、市民公開にて開催される明日のデザイン検討部会の際には、新・「北の橋」デザインとして提案する予定です。

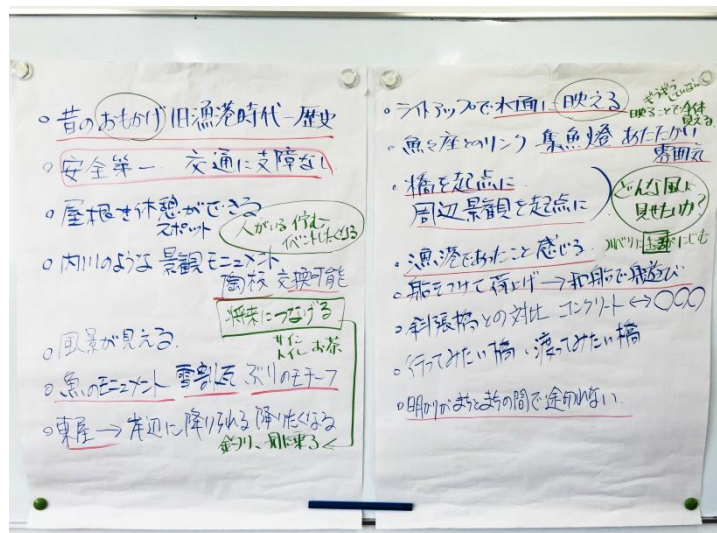


栗生総合計画事務所の栗生明氏



ワークショップの様子

協議会の今後の事業計画について



北の橋の整備にあたり、地域の歴史・文化・風土について、素材、色、大きさなどで表現し、デザインの工夫を行うことで、**地域の個性やアイデンティティが際立ち、魅力あるまちづくりに寄与する**のではないのでしょうか。

そのためにも地域住民の皆様やまちを訪れる方から**大きな共感を得るような、親しみやすいデザイン**を検討する必要があります。

今後は、新・北の橋にふさわしいデザインを協議会の要望として10月末にまとめることとしており、新たな北の橋の完成に向けて活動してまいります。

お知らせ

**デザイン検討部会を
市民公開にて開催します。**

日時：平成27年10月14日(水) 10:15～
場所：氷見市いきいき元気館 大会議室(3階)
※詳細は氷見市都市計画課(TEL:74-8078)
までお問い合わせください。

北の橋 周辺景観

北の橋周辺には、古くからの歴史と現代の生活が融合した情緒豊かな水辺の景観があります。この景観を、橋の整備とともに大切に守り伝えていくことが重要ではないでしょうか。



長らく水辺のまちを見守ってきた祠



特徴的なブロックの列



歴史的価値のある建物群



上流側に位置する「恵比寿橋」



下流側の開放的な眺望



黒瓦の屋並み



4月21日魚々座オープン



8月7日潮風ギャラリーリニューアルオープン



朝日山公園ワークショップ



起伏に富んだ地形を活かす3つのエリア分け

面積7.1ha、高低差は約20mという、広くそして起伏に富んだ土地のより多様な活用を目的として、公園を大きく「ヒルサイド」「ロングアリーナ」「ナチュラルアリーナ」の3つのエリアに分け、それぞれゾーニングの役割や特徴をそれぞれで個性を演出していきます。



ロングアリーナ：大規模な芝生広場



公園を形成する道具(造景構成)

- ランドフォーム：地形/造成
- ▲ エリアトラクター：異質景
- センター：気合
- ステージ：テラス/小広場
- フィールド：運動広場
- グリーン：緑地
- アークベラゴ：花壇
- ツリー：樹木
- ▲ アトラクター：ベンチ/サイン

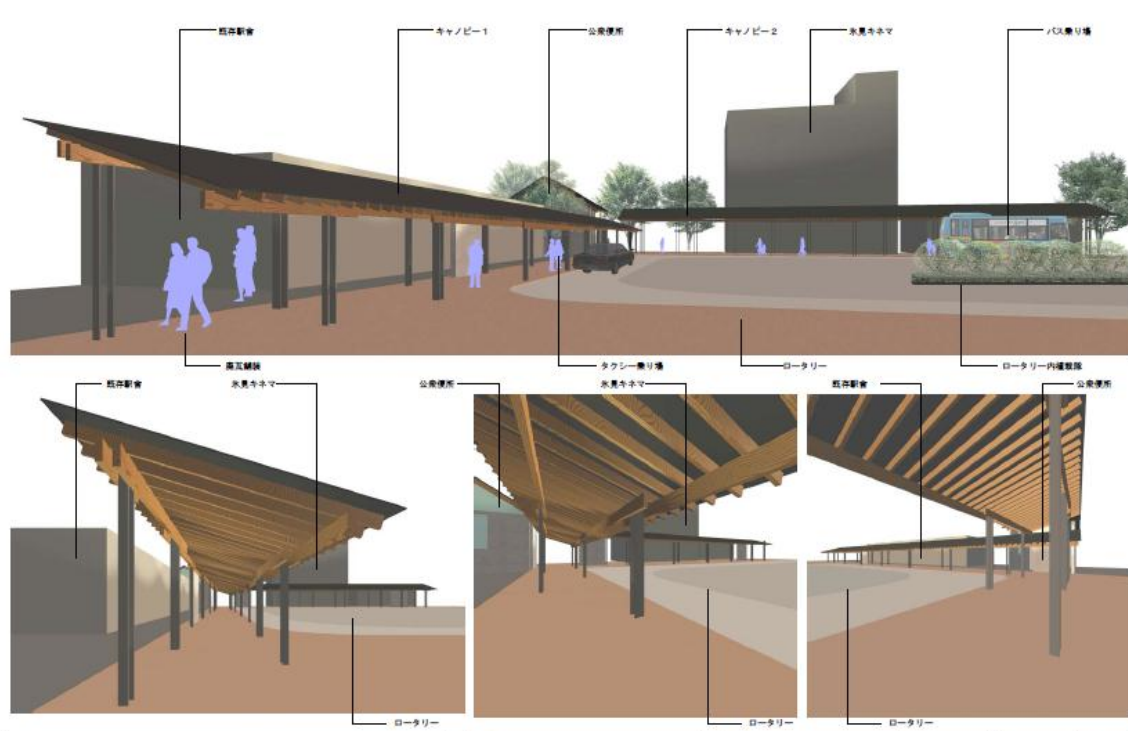


ナチュラルアリーナ：自然の地形を活かした自然豊かな空間



ヒルサイド：公園全体を見渡す高台の広場

氷見駅前整備計画



景観基本計画策定委員会



10月10日ベルモンタ運行開始



10月11日ひみ永久グルメ博



9月19日まちづくりバンクオープン



氷見市

まちづくり なバンクー



全国的に喫緊の課題となっている空き家対策や、
防災街区など老朽化した建築物の改修、北の橋の架け替えなど、
まちが抱える課題について専門家を交えて、
現場で考え、行動し、政策を作り上げ、まちづくりに取り組んでまいります。

開館時間 : 10時 - 20時

休館日 : 土・日・祝日

12月29日-12月31日、

1月1日 - 1月3日

住 所 氷見市中央町9番1号

電話番号 0766-73-2173

F A X 0766-73-2175

Facebook「氷見市まちづくりバンクー」

2015/9/19
OPEN!!

MISSION

1. 高齢化が進む中心市街地の 問題解決の拠点

○空き家対策、住宅相談

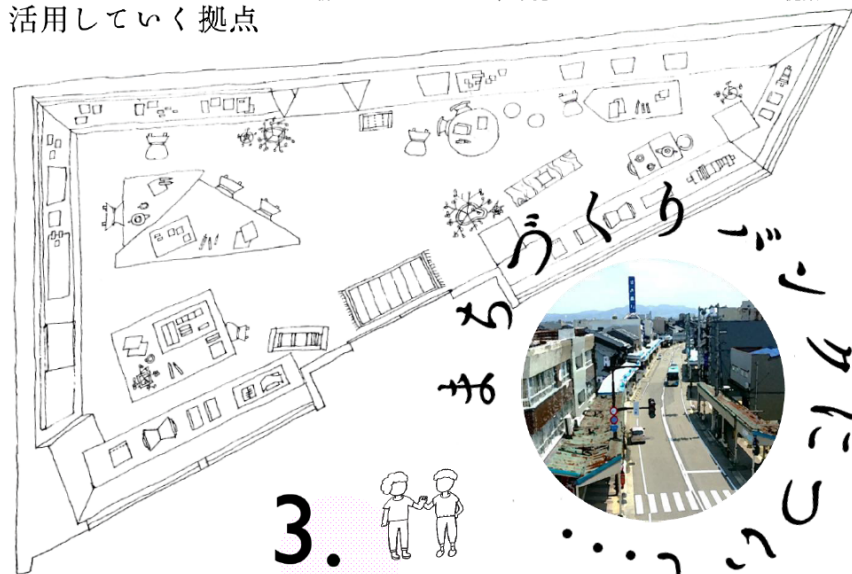
- ・空き家など市街地の空洞化の現状を調査し、
まちなかの再生に取り組みます。
- ・地域住宅相談所と連携し、
住宅の改築などの相談に対応します。

2.

まちの魅力度を高め
古いまちを残し、
活用していく拠点

○空き家情報バンク

- ・市内の空き家情報を収集し、インターネットなどを活用して
全国に発信するなど、移住・定住対策に取り組みます。
- ・空き家の改修などについて全国事例を参考にアドバイスをを行い、
新たなライフスタイル、氷見ならではのライフスタイルを提案します。



3.

タウンマネジャーの
活動の場

○まちの研究・情報発信

- ・防災街区の研究、提案、北の橋架け替え事業の情報発信、
勉強会の開催、商店街への回遊性の創出など、
まちの課題に取り組みます。
- ・氷見市が取り組むプロジェクト事業を紹介します。
- ・全国のまちづくり事例の情報を収集、発信します。

まちづくりの
勉強・実践の場

4.

○まちづくり勉強会（定例会）の開催

- ・全国で活躍されているまちづくり実践者、
研究者などを招聘し勉強会を開催します。

・リノベーションスクール（仮称）の事務局を運営します。

氷見市の空き家対策

27

①空き家情報バンク制度

市内の空き家を売りたい・貸したい方に、空き家登録をしていただき、市外の方を対象に紹介

全登録数12軒 東地区内1軒（10/12現在）

②セカンドライフ住宅取得補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を購入した場合、購入費又はそのリフォーム費の1/2補助（上限50万円）

③定住促進家賃補助金

空き家バンク登録者が、登録物件を借りた場合に家賃の1/2補助（月上限2万円・2年間）

④田舎暮らし体験ゲストハウス

市内への移住を考えている方を対象にした、生活体験宿泊施設（最高6泊まで可）

⑤まちなか地区居住支援補助金

まちなかの居住者が、隣接する土地を売買した場合、購入者と売却者に補助

購入者1㎡につき2千円・上限20万円

売却者1㎡につき1千円・上限10万円

⑥住宅取得支援補助金

市内で住宅を取得または増改築をした場合、固定資産税相当額を2年間補助（上限50万円）

ただし対象者要件あり

⑦空き家紹介奨励補助金（H27新規）

空き家情報バンクに登録可能な空き家及びその所有者を市に紹介した方に対し、成約1件当たり2万円を補助

⑧フレンドリー定住モデルコース（H27新規）

主に「子育て世帯」を対象として、知りたい・感じたいことを1泊から2泊で体験していただく。参加費は無料。ただし、島尾ゲストハウスの宿泊費、食費や氷見までの往復交通費は参加者負担

⑨危険老朽空き家対策事業

市街地で土地を含めて市に寄附のあった住宅を市が解体撤去

⑩危険老朽空き家対策事業補助金

廃墟になった空き家の取り壊し費用の2/3補助（上限30万円→**50万円にアップ**）

ただし地域活性化で土地利用することなどの要件あり

空き家情報バンク物件

No.	住所	条件	延べ床面積	建築時期
1	氷見市伊勢大町	賃貸	16坪	昭和25年頃
2	氷見市柳田	賃貸	217m ²	昭和52年頃
3	氷見市北大町	賃貸	179m ²	
4	氷見市中波	売却	228.52m ²	昭和43年頃
5	氷見市幸町	賃貸	114m ²	
6	氷見市七分一	賃貸	85.38m ²	昭和50年頃
7	氷見市阿尾	賃貸	175.54m ²	昭和40年頃
8	氷見市南大町	賃貸	101.25m ²	昭和45年頃
9	氷見市朝日丘	賃貸	160.9m ²	昭和41年頃
10	氷見市朝日本町	賃貸	117m ²	昭和46年頃
11	氷見市見内	売却	75坪	昭和35年頃
12	氷見市姿	売却	113.93m ²	昭和48年頃



7月21日障がい児の通所サービス施設 「キッズサポートなないろ」開所

